

# 平成28年度事業報告

全国を上回るスピードで少子高齢化・人口減少が進行している本県においては、住民自ら地域の福祉課題を発見し、解決につなげることができる地域コミュニティの形成が求められており、活発な住民活動の推進や、これらの課題に福祉施設・団体、関係機関、専門職、住民、行政等が協働して解決に取り組むためのシステムづくりが重要な課題となっています。

本会としては、第三次活動推進計画に基づき、以下の5つを事業推進の柱として位置付け、民生委員・児童委員等社会福祉事業関係者はもとより、保健、医療、教育等関連分野との連携・協働を図りながら事業を実施しました。

## 第1 地域協働による地域福祉の推進

誰もが住みたいと思うそれぞれの地域において、必要な支援を受け社会とのつながりを持ちながら安心して暮らすことができるよう、これまで築いてきた地区社協等による小地域福祉活動や、ケアネット活動等を基盤に住民、福祉関係団体・関係機関、NPO法人や企業等、多種多様な主体との連携・協働のもと、地域における包括的なケアシステムの構築に努めるとともに、生活支援の視点と、地域社会が当事者を排除することなく支える権利擁護の視点の2つの視点に立脚して、小地域ネットワーク活動、在宅福祉サービス、総合相談・生活支援活動の充実・強化を図りました。

### 【主な取り組み】

- ・ふれあいコミュニティ・ケアネット21を全市町村、259地区で実施
- ・ケアネット活動支援事業、ケアネット活動の普及啓発事業等
- ・生活福祉資金の貸付決定実績 277件 48,239,356円
- ・富山県東部生活自立支援センターにおいて、県東部8市町村を対象に自立相談支援事業等の実施
- ・社会福祉法人地域公益活動推進事業を実施。4市社協へ事業費を助成（黒部、砺波、小矢部、射水）
- ・障害者の工賃水準の向上に向けた研修会等の実施
- ・富山県民福祉推進会議の開催、第20回福祉フォーラムの開催
- ・日常生活自立支援事業を全市町村で実施（実利用人数497件）
- ・市町村社協役職員の資質向上に向けた研修等の実施

## 第2 多様な機関との連携・協働による福祉教育の推進とボランティア・市民活動への支援

地域の福祉課題・生活課題について住民自らが考え、課題解決に向けて実践的に取り組めるよう成長していくための学習として、学校内や子どもだけにとどまることなく、学校、地域、社協が一丸となった地域を基盤とした福祉教育・ボランティア学習の推進を図りました。

また、多様化する生活の中で、県民がそれぞれ主体となり、生きがいや新たな課題等を自ら学び、実践する市民活動に参加する人たちへの支援として、企業の社会貢献活動推進のためのセミナーや講座を開催しました。さらに、多発する災害の支援経験から、安心・安全なまちづくりを進めていくうえで、平常時からの「支え合い」活動や住民相互のつながりを強めるため、関係機関等との協働による防災・減災の取り組みを進めました。

### 【主な取り組み】

- ・福祉教育地域指定推進事業の実施（14か所）
- ・富山県福祉教育セミナーの開催
- ・福祉教育サポーター養成確保モデル事業の実施

- ・ボランティア活動コーディネーター、ボランティアサポーターの設置
- ・企業の社会貢献セミナーの開催
- ・アクティブシニア地域デビュー講座の開催
- ・「健康と長寿の祭典」開催、いきいき長寿大学の開催
- ・災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会の開催

## 第3 福祉サービスの利用者 と 提供者 への支援

地域において、県民一人ひとりが安心して生活するためには、福祉サービスを適切に利用する仕組みが重要であることから、誰もが住み慣れた地域（市町村域及び日常生活圏域）において必要なサービスを利用し、安心して生活することができるよう、福祉についての相談やサービス利用の際に必要な支援の充実を図るとともに、福祉サービス提供者に対しては、サービスの質の向上と経営基盤の強化・支援を行うなど、福祉サービスをより利用しやすい環境づくりに努めました。

### 【主な取り組み】

- ・福祉総合相談センターの運営（総相談件数3,073件）
- ・障害者虐待防止ネットワーク協議会の開催
- ・難病相談・支援センター、若年性認知症相談・支援センター、がん総合相談支援センターの運営
- ・介護サービス指定情報公表センターの運営
- ・福祉サービス運営適正化委員会の開催
- ・福祉用具、モデルルームの展示（771種類）、福祉用具に関する研修会等の開催
- ・各種福祉団体の事務局受託（5団体）

## 第4 福祉の担い手確保と資質向上

今後、ますます複雑化・多様化する福祉ニーズに応え、利用者本位のサービスの実現を進めるためには、福祉サービスを提供する人材の質と量の両面からの安定的確保と、福祉人材の確保と定着への支援が重要となってきます。

このため、福祉・介護の現場で直接支援を行う職員や看護師、保育士等の人材不足の状況が続く中、様々な求職者ニーズや特性を活かした効率・効果的なマッチングを進めるとともに、小学校等の子どもの時からの福祉・介護の仕事への理解の促進や、指導的役割を担う中堅職員の紹介などイメージの向上について取り組みました。

また、福祉関係諸団体と連携・協力を図りながら、サービス利用者の権利擁護の視点を持つ専門的知識・技術の高い福祉人材の育成や福祉職場における研修体系の構築への支援を行いました。

### 【主な取り組み】

- ・健康・福祉人材センターの運営  
相談件数：3,485件 紹介者数：237人 採用者数：198人
- ・福祉職場説明会の開催、がんばる介護職員の表彰
- ・民間社会福祉事業所の人材確保に関する調査の実施
- ・福祉人材確保対策介護の開催
- ・福祉介護人材マッチング強化事業の実施
- ・保育士・保育所支援センターの運営
- ・介護福祉士等修学資金貸付事業、保育補助者雇上貸付・潜在保育士再就職支援事業、児童養護施設退所者等貸付事業の実施
- ・介護支援専門員実務研修受講試験の実施



## 第5 県社協の活動基盤の強化

県域における地域福祉を総合的に推進する唯一の専門組織として、県民の期待に応える地域福祉活動を展開するため、県社協活動基盤の強化に努めました。

### 【主な取組み】

- ・理事会、評議員会の開催
- ・基金運営委員会の開催
- ・第4次活動推進計画の策定
- ・第65回富山県社会福祉大会の開催
- ・広報誌「福祉とやま」の発行（奇数月に各12,000部）
- ・市町村社協会長会議、市町村社協専務・常務理事、事務局長会議の開催

## 平成28年度 富山県社会福祉協議会 収支決算総括表

一般会計			
会計区分	収入	支出	差引
1 法人運営事業拠点区分	162,451,063	146,154,795	16,296,268
2 地域福祉活動推進事業拠点区分	246,403,703	243,050,372	3,353,331
3 施設・団体活動振興事業拠点区分	87,419,814	87,419,814	0
4 福祉総合相談事業拠点区分	77,869,805	77,869,805	0
<b>社会福祉事業区分 合計</b>	<b>574,144,385</b>	<b>554,494,786</b>	<b>19,649,599</b>
1 福祉人材育成・研修事業拠点区分	105,103,824	103,603,824	1,500,000
2 長寿社会推進事業拠点区分	79,204,123	77,301,357	1,902,766
3 貸付事業拠点区分	1,517,080,946	798,430,255	718,650,691
<b>公益事業区分 合計</b>	<b>1,701,388,893</b>	<b>979,335,436</b>	<b>722,053,457</b>
1 富山県総合福祉会館管理事業拠点区分	105,598,388	105,598,388	0
<b>収益事業区分 合計</b>	<b>105,598,388</b>	<b>105,598,388</b>	<b>0</b>
<b>一般会計 合計</b>	<b>2,381,131,666</b>	<b>1,639,428,610</b>	<b>741,703,056</b>

### 生活福祉資金会計

1 生活福祉資金会計	947,975,962	56,956,755	891,019,207
2 生活福祉資金貸付事務費会計	52,923,718	52,923,718	0
3 要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	60,425,469	10,010,701	50,414,768
4 臨時特例つなぎ資金会計	16,576,326	4,073,794	12,502,532

<b>総合計</b>	<b>3,459,033,141</b>	<b>1,763,393,578</b>	<b>1,695,639,563</b>
------------	----------------------	----------------------	----------------------

## 平成28年度 一般会計資金収支計算書の概要

### 収入の部

科目名	決算額
会費収入	39,570,428
補助金収入	370,527,219
受託金収入	243,410,110
貸付事業収入	67,053,003
事業収入	74,022,369
利息収入	25,125,623
借入金収入	679,310,400
積立資産取崩収入	61,256,246
その他の収入	41,828,076
貸付資金補助金収入	708,760,000
前期末支払資金残高	31,803,873
<b>収入計</b>	<b>2,342,667,347</b>

(内部取引消去後)

### 支出の部

科目名	決算額
人件費支出	305,385,238
事業費支出	315,788,977
事務費支出	52,678,508
貸付事業支出	115,284,720
助成金支出	113,271,629
借入金償還金支出	672,905,000
基金積立支出	30,000
その他の支出	25,620,219
<b>収入計</b>	<b>1,600,964,291</b>

## 平成29年度 富山県社会福祉協議会 事業計画 ～ともに生き、ともに支え合う福祉社会の実現～

### 1 身近な地域(生活圏)における総合相談体制の構築による包括的な支援の提供

- 1 住民のあらゆる福祉・生活課題に対応するための全世代・全対象型の相談体制の構築による包括的な支援の提供**
- (1) 小地域（日常生活圏）における住民主体の助け合い活動の拡充（拡）・小地域福祉活動推進事業（ケアネット21）
  - (2) 地域における総合相談体制の構築
    - ・生活福祉資金貸付事業
    - ・東部生活自立支援センター運営事業
  - (3) 市町村社協の基盤強化支援及び役職員の資質向上
    - ・市町村社協役員セミナーの開催
    - （新）・地域から期待される社会福祉協議会のあり方研究会の設置
  - (4) 地域包括ケアシステムの推進と地域包括支援センター等との連携・協働の取組み強化
    - ・地域包括ケア推進事業
  - (5) 民生委員・児童委員との連携・協働
    - ・民生委員・児童委員研修
    - ・民生委員児童委員互助共励事業
  - (6) 福祉のまちづくり活動の推進
    - ・富山県民福祉推進会議の開催
    - ・福祉フォーラムの開催
  - (7) 福祉関係団体とのネットワーク構築
    - ・社会福祉施設・団体正副会長連絡会議
  - (8) 各種福祉団体への支援・協力
    - ・各種福祉団体の事務局受託（5団体）
  - (9) 各種ニーズに対応した福祉総合相談体制の充実
    - ・高齢者総合相談センターの運営
    - ・障害者虐待防止ネットワーク協議会の開催
    - （拡）・難病、若年性認知症、がん相談支援センター事業

### 2 制度の狭間に対応した新たなサービス・活動の開発

- (1) 地域の特性や本人の強みを活かした支援の推進
  - ・CSW実践者養成研修等の実施
- (2) 地域における自立生活への支援
  - ・障害者工賃向上支援事業

### 3 その人らしい生き方を支援する権利擁護の推進

- (1) 身近な地域における権利擁護相談支援の推進
  - ・日常生活自立支援事業

### 3 災害時に対応できる地域づくりの推進

- 1 日常的なつながりを基盤とした要援護者への支援体制の充実**
- (1) 災害時の要援護者支援・福祉救援の取組みの充実
    - ・災害救援ボランティア訓練事業
  - (2) 災害時のボランティア活動の展開支援
    - ・災害救援ボランティアコーディネーター・リーダー養成研修会
- 2 災害時における福祉施設、専門職団体等との連携・協働支援体制の構築**
- (1) 専門職等関係機関・団体との連携・協働
    - ・災害ネットワーク推進事業
    - ・災害福祉広域支援事業

### 5 福祉人材の確保・定着、育成

- 1 福祉職場の魅力の発信と、新たな分野での福祉人材の掘り起こし**
- (1) 福祉の人材確保・マッチング支援の強化と人材定着を支援する取り組みの推進
    - ・福祉人材無料職業紹介事業の充実
    - （拡）・離職介護人材の届出制度の活用促進
    - ・福祉人材確保緊急プロジェクトの推進
  - (2) 就労支援ネットワークづくり
    - ・介護福祉士等修学資金貸付事業等の実施
  - (3) 福祉・介護職場のイメージアップ
    - （拡）・高校生等の福祉の魅力体験バスツアー
    - （新）・福祉・介護職場の魅力発信事業
- 2 研修実施や資格取得の促進を通じたキャリアパスの構築**
- (1) 委員会等の開催
    - ・福祉カレッジ運営委員会等の開催
  - (2) 福祉カレッジ研修事業の実施
    - （拡）・ソーシャルワーク研修、ケアワーク研修等の充実
  - (3) 介護支援専門員実務研修受講試験事業
- 3 福祉・介護機器活用による職場の活性化とスキルアップ**
- (1) 効果的な福祉・介護機器の活用支援
  - (2) 福祉・介護機器を活用した介護技術研修の実施と指導者の育成支援
    - ・介護技術向上のための研修の実施
    - ・腰痛予防対策推進研修の実施
    - （拡）・腰痛予防対策推進施設の指定

※平成28年度事業報告、収支決算及び平成29年度事業計画・収支計画の詳細については県社協ホームページで公表しています。

### 2 住民が地域福祉活動に主体的に参加するための土壌づくり

- 1 地域住民の地域福祉活動やボランティア活動への参加促進**
- (1) ボランティアセンターの機能強化と市民活動との連携・協働への支援
    - ・県ボランティアセンター運営
  - (2) 福祉のまちづくりの視点による市民活動団体等との連携・協働
    - ・アクティブシニア地域デビュー講座
    - ・企業の社会貢献セミナーの開催
- 2 子どもから大人までの幅広い世代への福祉教育の推進**
- (1) 福祉教育・ボランティア学習の推進
    - ・福祉教育地域指定推進事業
    - （拡）・福祉教育サポーター養成確保事業
    - ・富山県福祉教育セミナーの開催
- 3 住民と専門職等との協働による地域福祉活動の推進**
- (1) ケアネット活動による住民と専門職等との協働による個別支援と地域支援の推進
  - (2) 地域における住民と専門職の連携による活動の展開支援
  - (3) 地区社協の強化を目指した市町村社協への支援
- 4 高齢者の社会参加と地域福祉活動への支援**
- (1) 高齢者の生きがいづくりの推進
    - ・健康と長寿の祭典開催事業
    - ・いきいき長寿大学開催事業
  - (2) 高齢者の社会参加活動の促進
    - ・シニアタレント社会活動事業
    - ・エイジレス社会づくりリーダー養成塾

### 4 地域ニーズへの対応力向上と効果的・効率的なサービス提供に向けた経営支援

- 1 社会福祉法人の地域における公益的な取組と法人間の連携・協働**
- (1) 社会福祉法人による地域連携の推進と公益的な取組みの支援
    - ・社会福祉法人地域公益活動推進事業
- 2 福祉施設・事業所の経営マネジメント力向上への支援**
- (1) 社会福祉法人等の自立的経営と経営基盤の強化
    - ・福祉施設経営指導の推進
    - ・富山県社会福祉法人経営者協議会との連携
  - (2) 富山県福祉施設支援資金の貸付及び償還管理
- 3 福祉・介護機器の導入・活用支援**
- (1) ICT及び福祉・介護機器の活用支援
    - （新）・福祉・介護機器の導入・活用状況に関する実態調査
    - （新）・先進的取組事例の紹介

### 6 利用者本位による福祉サービスの選択と福祉サービスの質の向上

- 1 福祉サービスの見える化と質の向上**
- (1) 福祉サービス第三者評価事業の実施
    - ・地域密着サービスにかかる外部評価の実施
  - (2) 利用者の福祉サービスの選択
    - ・介護情報の公表事業の実施
  - (3) 福祉サービスに関する苦情解決のための取組み強化
    - ・第三者委員設置の促進
    - ・苦情解決部会、運営監視部会の開催

### 7 地域福祉推進のための組織基盤の強化

- 1 経営・財政基盤の強化**
  - ・第4次活動推進計画の推進
- 2 情報収集と発信機能の強化**
  - ・第66回富山県社会福祉大会の開催
- 3 組織体制の強化**
- 4 指定管理者としての機能強化**